

## 2018 草木染塾 7月講座

- 【開催日】 2018年7月30日(月)  
【場所】 川崎市黒川青少年野外センター  
【内容】 藍の生葉染めと濃淡染め



今年の草木染塾は経験者を対象に講座というより勉強会のような雰囲気で行われています。今回のテーマは「藍の生葉染めと濃淡染め」。乾燥葉を使った藍染は1年中できますが、生の葉っぱを使った「生葉(なまば)染め」はこの時期しかできません。3種類の染め方を復習し、実践しました。

### ①叩き染め

子ども向けイベントでもできる簡単な染め方。布に直接葉っぱをテープで貼りつけ、上から木槌で叩きます。葉脈もしっかり写りかわい模様ができる…はずが、私がやったものはうまくいきませんでした。使ったハンマーの頭がゴム製だったせいか、叩きが弱かったのかもしれませんが。かたいハンマーを借りたのですが、カンカンッという音がうるさすぎて、途中であきらめてしまいました。

### ②生葉の煮出し染め

生の葉っぱを煮出し、酵素液を足します。酵素液は生の葉っぱに水を加えてミキサーで混ぜたもの。熱に弱いので、染液を冷ましてから加えます。生葉染めはシルクが一番よく染まるのでシルクのストールを染めました。草木染めをしていると、ストールばかり増えていきます。これらの活用法もみんなで考え中です。

### ③藍の濃淡染め

生葉で煮出したものの他に、インド藍を使って濃い色が出る染液を用意しました。これで白(染めない部分)、薄い青(生葉)、濃い青(インド藍)の3色を使って模様が作れます。模様出しも毎回工夫しています。簡単に素敵な模様がどうやったらできるのか、布を小さく(薄く)したり、挟む板の位置を変えたり、いろいろ挑戦しています。

インストラクターとしてお客さんと染めるときに失敗はできません。ですがこの研修では、みんなでトライして成功したり失敗したりしながら、対応策を考えていけます。話し合っているうちにいろんなアイデアが出て、また新たなモチベーションになるのがとてもいいと思いました。

